

シリーズ

埼玉の隠れた銘品百選

⑥1

雛人形 (株式会社マル武人形)



お雛様というと、華やかに飾られたセットを眺めるばかりだった気がする。今回は、一体の人形として、じっくりと鑑賞させていただいた。幾重にも重ねられた着物をはじめ、実にきっちと作り込まれている。美しい。

節句人形の出荷額日本一を誇る埼玉県。岩槻と並んで有名な鴻巣の人形作りは400年ほど前に京の仏師、藤原吉園によって伝えられたのが起源である。農家の副業として発展し、江戸中期には「鴻巣雛」のブランドを確立した。

「株式会社マル武人形」は、老舗人形店の末っ子であった関口武恭さんが昭和21年に創業した。昭和62年には県の伝統工芸モデル工場に指定された。京都西陣、加賀友禅など最高級生地を仕入れ、小川和紙を裏地として縫製した後、県認定の伝統工芸士らが着付け・振付けを行う。

4代目の関口典宏現社長は初代の孫で、製薬会社勤務を経て家業に入った。伝統工芸の発展には女性の感性が欠かせないと考え、2015年の社長就任と同時に、衣装のデザイン・企画・製作から着付けに至る全ての工房作業を女性スタッフに託した。以来、生地にレースを用いた

「HINA DOLL Collection」や、室内空間への溶け込みに配慮した「Simple × Modern」など、伝統と時代性を融合したシリーズを発表してきた。

もっとも、マル武の雛人形は見て楽しむだけではないようだ。関口社長いわく、「古来、節句人形は子供の身代わりとされ、降りかかる厄を受けてくれるもの。だから、是非お子さんに撫でさせてください、触らせてください」。これはこれで奥深い話ではないか。



■ 株式会社 マル武人形

代表取締役社長 関口 典宏

〒365-0037 鴻巣市人形 2-1-8

(武蔵野銀行鴻巣支店取引先)

